

本書の目的

本書は、大和市みんなの街づくり条例第23条(年次報告)の規定に基づいて、協働の街づくりについて、その推進状況を明らかにするため作成するものです。

参考...条例第23条(年次報告)

市長は、第10条の規定による登録の状況、第6章の規定による街づくりへの支援の状況その他街づくりの推進状況を明らかにするため、年次報告書を作成し、これを公表しなければならない。

目次

1. 地区計画、建築協定等の活用(第7条)
2. 地域街づくり協議会、地域街づくり計画(第8条・第9条)
3. 地区街づくり推進団体(第10条)
4. 地区街づくり方針(第11条)
5. 街づくり協定(第12条)
6. 開発事業の協議等(第13条)
7. 開発事業者に対する勧告と公表(第14, 15条)
8. 地域街づくり協議会、地区街づくり推進団体への助成(第16, 17条)
9. 情報の提供等(第18条)
 - 街づくりフォーラムやまと'99
 - 街づくりサロン
 - 街づくり学校
 - その他
10. 街づくり専門家の派遣等(第19条)
11. 市街地開発事業への支援(第20条)
12. 地区施設等への支援(第21条)
13. 表彰(第22条)
14. 街づくり推進会議
15. その他の街づくり推進状況

1. 地区計画、建築協定等の活用(第7条)

平成11年度は、「南林間南一条通り商店街街づくり協定」(平成11年7月14日認定・平成11年7月28日公示)が締結(従前の任意協定を見直し、改正)され、地区計画が4地区、建築協定が19地区、街づくり協定が1地区で締結されています。

2. 地域街づくり協議会、地域街づくり計画(第8条・第9条)

地域街づくり協議会、地域街づくり計画は、平成11年4月から現在まで認定されていません。平成12年度以降の地域街づくり協議会の認定申請に向けて現在活動を行っている街づくり組織は以下の2つの組織です。

	中央林間まちづくり委員会	相模大塚まちづくり委員会
エリア	中央林間、下鶴間地内周辺8自治会 (中央林間新緑野、鶴間新町の一部、中央林間南、中央林間西、中央林間内山、中央林間北、中央林間新生、中央林間東)	桜森、上草柳地内周辺4自治会 (相模大塚北、上草柳西、桜森、扇野)
代表者	会長 鈴木 茂	会長 前田 邦壽
構成員	委員70名	委員56名(会員より選出) (会員=周辺4自治会及び関係団体、企業)
設立時期	平成元年4月	平成4年7月
活動内容	街づくり活動のPR(広報誌の発行1回、ふれあいコンサート等催事、定例会) *平成7年度に「中央林間まちづくり構想」(案)作成済み	定例会月1回、街づくり活動のPR(広報誌の発行1回) *平成7年度に「相模大塚まちづくり基本構想」(案)作成済み
市の支援	協議会の認定に向けての情報提供、役員との勉強会出席、催事等に参加	協議会の認定に向けての情報提供、役員との勉強会出席、定例会においての意見交換

3. 地区街づくり推進団体(第10条)

地区街づくり推進団体は、平成11年4月から現在まで以下の2つの組織が登録されました。

	千本桜街づくり委員会	南林間南一条通り商店街街づくり委員会
エリア	福田字乙七ノ区、福田字乙八ノ区、代官一丁目地内(千本桜自治会)	南林間1丁目1番地先より同7番地先までの南一条通りに面している区域
代表者	会長 越後屋 比佐子	委員長 宮東 悠
構成員	委員22名(エリア内各組織代表者等)	南一条通りに面している区域の住民等49名
設立時期	平成11年4月	昭和63年9月
登録年月日	平成11年6月14日	平成11年6月18日
活動内容	平成10年度作成の街づくり構想を実現するためのルールづくり(地区計画等) アンケート、懇談会、意見交換会	昭和63年度作成の任意協定を原案とした協定づくり街づくり協定の管理運営
市の支援	ルールづくりに向けての情報提供、委員との勉強会出席、定例会における意見交換助成、専門家派遣については(8)と(10)で記載	「南林間南一条通り商店街街づくり協定」の協力依頼1件(第12条)

平成12年度以降の地区街づくり推進団体の登録申請に向けて現在活動を行っている街づくり組織は以下の1つの組織です。

	中央林間北自治会環境部会
エリア	中央林間4丁目地内(中央林間北自治会)
代表者	吉田 芙喜子
構成員	中央林間北自治会会員
設立時期	平成4年8月
活動内容	地区街づくり推進団体としての組織体制(規約・役員等)を検討 *平成8年度に「中央林間4丁目街づくり憲章ガイド」作成済み
市の支援	窓口にて街づくり憲章ガイドのPR

4. 地区街づくり方針(第11条)

地区街づくり方針は、平成11年4月から現在まで1件が認定されました。

『千本桜地区街づくり構想』

「自然と共生できる安全なまち」を目標にした方針

認定年月日:平成11年7月14日(平成11年7月28日告示)

5. 街づくり協定(第12条)

街づくり協定は、平成11年4月から現在まで1件が認定されました。

『南林間南一条通り商店街街づくり協定』 *市民街づくり活動の詳細はこちらから。

「林間都市のイメージを受け継ぎ、良好で緑豊かな商業のまち並みを形成する」ための協定

認定年月日 平成11年7月14日(平成11年7月28日告示)

6. 開発事業者の協議等(第13条)

平成11年4月から現在までに「大和市街づくり指導要綱」の対象物件は、事前協議84件。内訳は開発行為38件、建築行為38件、ワンルーム8件です。

7. 開発事業者に対する勧告と公表(第14, 15条)

開発事業者への勧告と事業者名簿の公表は、平成11年4月から現在まで行っていません。

8. 地域街づくり協議会、地区街づくり推進団体への助成(第16, 17条)

地域街づくり協議会へは、平成11年4月から現在まで認定されていないため助成はありません。

地区街づくり推進団体への助成は、次のとおりです。

・千本桜街づくり委員会

ルールづくりをするための活動費として221,680円を助成(平成12年度支出予定)

(会合費14回、通信費8回、印刷費8回、地区街づくり方針等作成費2回) 専門家派遣については(10)で記載

9. 情報の提供等(第18条)

平成13年度における主な「情報の提供と学習への支援」は次のとおりです。

街づくりフォーラムやまと'99

街づくりフォーラムやまと'99は下記の内容で開催されました。

とき 平成11年6月26日

ところ 保健福祉センター

テーマ つくろう私たちのまち

内容 第6回街づくり賞表彰式、基調講演、寸劇、パネルディスカッションほか

来場者 約200名

備考 毎年1回開催、今回は6回目、3回目から市民参加による実行委員会形式で運営

街づくりサロン

平成6年11月に市役所4階都市部フロアに街づくりの情報基地として開設

・街づくり情報の収集(書籍等約3300点)・街づくりに関する情報提供、相談の場・ホームページ上の「やまと街づくりサロン」による街づくり関連の意見収集・情報提供・街づくりサロン通信の発行(第6号・第7号)

街づくりサロン通信発行内容

号数・発行年月日

内容

第6号・平成11年8月31日

街づくりフォーラムやまと'99、街づくり賞、地区街づくり推進団体登録、地区街づくり方針認定、街づくり協定認定、その他

第7号・平成12年1月20日

街づくり学校、街づくり賞募集、その他*各1000部(郵送600部市内公共施設400部)を配布)

(備考)

第1号(平成8年12月) 第2号(平成9年3月) 第3号(平成10年1月) 第4号(平成10年12月) 第5号(平成11年3月)

入門編第三期

とき 平成11年6月5日～10月2日 全7回

ところ 林間学習センター

テーマ 「江戸の街から現代の街づくりを考える」

受講者 29名

内容 講義、グループワーク、タウンウォッチング、発表とディスカッション等

	とき	テーマ	講師
1	平成11年6月5日	「住民参加の街づくり」	産能大学 斉藤 進
2	平成11年6月26日	街づくりフォーラムやまと'99に参加	
3	平成11年7月17日	「景観」	関東学院大学 志村直愛
4	平成11年7月31日	「防災」	東京都立大学 中林一樹
5	平成11年9月4日	「住環境・ルール」	大戸まちづくり研究所 大戸 徹
6	平成11年9月25日	「タウンウォッチング」	産能大学 斉藤 進
7	平成11年10月2日	「まとめ・ミニシンポジウム」	

専門編・景観コース第一期

とき 平成12年1月29日～3月18日 全4回

ところ 生涯学習センター

受講者 32名

内容 講義、グループワーク、タウンウォッチング、発表とディスカッション等

	とき	テーマ	講師
1	平成12年1月29日	「景観づくりの考え方、必要性について学ぼう」	(株)アーバンデザインコンサルタント 邑上 守正
2	平成12年2月5日	「街並みの中の色彩について学ぼう」	カラープランニングセンター 吉田 慎吾
3	平成12年2月	「都市デザイン、緑化について」	(株)アーバンデザインコンサルタ

	26日		ント 邑上 守正
4	平成12年3月 18日	「事例研究・まとめ」	(株)アーバンデザインコンサル ト 邑上 守正
5	H14. 3.16	景観探検の発表と選考	志村直愛(関東学院大学)

(これまでの開催内容)

備考 平成9年度に入門編第一期 平成10年度に入門編第二期、実践編第一期を開催

その他

・みんなの街づくり条例のPRを目的とした「みんなの街づくり条例のガイド」を作成
A4版16ページ、2,000部発行

10. 街づくり専門家の派遣等(第19条)

街づくり専門家の派遣等(第19条) 平成5年度から、市民の自主的な街づくり活動を支援するために、街づくり専門家の派遣を行っています。ルールづくり、建物の共同化、公園づくりのワークショップ等幅広い活動に対して派遣しています。平成11年度は25件の派遣を行いました。内訳は以下のとおりです。

専門家派遣状況

派遣先	派遣内容	回数
地区街づくり推進団体 (千本桜街づくり委員会)	ルールづくりへの支援	12回
地区街づくり推進団体の 準備組織 (千本桜街づくり準備委員会)	組織化への支援	2回
市	(街づくり学校)住環境・防災・景観等の講師	10回
	(講演会)ルールづくりについて	1回
	大規模建築物等事前協議	1回

平成5年度からの総派遣数は、135件です。登録専門家数 48名

11. 市街地開発事業への支援(第20条)

土地区画整理事業や市街地再開発事業等の市街地開発事業は、準備期間が長く、多くの財源が必要となります。市街地開発事業を目指した活動については、準備組織の運営経費等の助成(「大和市街づくり事業準備活動補助金交付要綱」平成11年4月)の制度があります。平成11年度の支援については、大和駅周辺の再開発事業関連が4団体、土地区画整理事業関連1団体に対して支援を行っています。

12. 地区施設等への支援(第21条)

地区計画や街づくり協定等によってつくりだされる歩道状の空地について、その整備や維持管理に関する支援制度とし運用できるようになりましたが、平成11年4月から現在までに適用事例はありません。

13. 表彰(第22条)

街づくり賞

大和市では、平成5年度から「大和市街づくり賞」を実施しています。活動部門として「団体表彰」「個人表彰」、事例部門として「まちのグッドデザイン賞」「まちのアクセサリー賞」を設けており、平成10年度までに37の活動や事例が表彰されました。平成11年度は、6月に行われた「街づくりフォーラムやまと'99」で、第6回街づくり賞として下記の8件の表彰が行われました。

第6回街づくり賞

活動部門 団体表彰	
まちのグッドデザイン賞	
中央林間まちづくり委員会	
どんぐり公園を育てる会	
事例部門	
まちのグッドデザイン賞	まちのアクセサリー賞
大和学園聖セシリア	環境共生型の商業ビル(アーキテクト)
高座みどり幼稚園	古き南林間の面影を残したお宅(大木良雄邸)
鶴林寺・長谷川邸	クリスマスイルミネーション(保田邦明邸)

・引地川沿いのオープンな街
並み(福田)

・都会のオアシス(大和中央パークホ
ムズ)(中央)

14. 街づくり推進会議

街づくり推進会議とは・・・街づくりに関する重要事項について調査審議することを目的に設置された審議機関で、知識経験を有する者、地域街づくり協議会の代表者、関係団体の代表者、公募市民などの13名以内で構成されます。平成11年度の街づくり推進会議は3回開催されました。

会議内容

	とき	内容
第1回	平成11年 5月14日	第6回街づくり賞について ・街づくり賞として8件が選定 (13)参照
第2回	平成11年 6月28日	「地区街づくり方針の認定」及び「街づくり協定の認定」について ・千本桜街づくり構想の認定 (4)参照 ・南林間南一条通り商店街街づくり協定の認定 (5)参照
第3回	平成12年 3月6日	平成11年度街づくり年次報告について

街づくり推進会議委員(任期:H10.10~H13.3)

氏名	区分
中林 一樹(会長)	知識経験
伊田 啓治	関係団体
邑上 守正(職務代理)	知識経験
小田切 修	関係団体
尾崎 真理	知識経験
加治木 睦子	公募
河崎 民子	知識経験
神田 暁	公募

齊藤 進	知識経験
杉浦 宇	公募

(敬称略)

15. その他の街づくり推進状況

中心市街地の活性化これまで、大和駅周辺地区は、小田急電鉄江ノ島線と相模鉄道本線が連絡する結節点という立地から、本市の中心市街地としての役割を果たしてきました。

駅周辺においては相模鉄道本線連続立体交差事業(地下化)を実施するとともに、駅前広場の整備や東西約1kmにわたるプロムナード整備等、市街地の整備を進めてきています。

しかし、近年消費者の購買行動の多様化や近隣市等における郊外型大型店の出店等による商業環境の変化やモータリゼーションの進展などにより、中心市街地の衰退が懸念されています。

そのため、平成11年度に、学識経験者や駅周辺商店会、街づくり組織、商工会議所などの代表者で構成する大和市中心市街地活性化基本計画検討委員会が設置され、大和駅周辺地区の市街地の整備改善と商業の活性化を一体的に推進するための基本計画に関する検討が行われ、平成12年2月21日に本市に対して提言が行われました。

この提言を受け、本市では、早期に効果的かつ効率的に大和駅周辺地区の活性化を図るべく平成12年3月に大和市中心市街地活性化基本計画を策定しました。